

「中小型株等上場企業の情報開示向上の取組み」に関するアンケート質問項目等

項番	質問項目	回答項目（選択肢）
Q1	貴社の取引所市場区分（2025年4月1日現在）を選んでください。	1 プライム 2 スタンダード 3 グロース
Q2	貴社の取引所上場期間（2025年4月1日現在）を選んでください。	1 5年以上 2 1年以上～5年未満 3 1年未満
Q3	貴社の時価総額（2025年 4 月 1 日現在）を選んでください。	1 500億円以上 2 200億円以上～500億円未満 3 100億円以上～200億円未満 4 50億円以上～100億円未満 5 50億円未満
Q4	貴社IR担当の人数（兼務を含む）を選んでください。	1 5 名以上 2 4 名 3 3 名 4 2 名 5 1 名
Q5	貴社IR担当の人数（専任のみ）を選んでください。	1 5 名以上 2 4 名 3 3 名 4 2 名 5 1 名 6 0 名
Q6	IR体制について当てはまるものを選んでください。 （専任の部署とは、組織規程等で明示されているもの）	1 専任の部署がある 2 専任の部署はない 3 その他（具体的に記載してください）
Q7	IR専任の部署があるとお答えの方にお聞きます。 貴社IR部署が属する部門を選んでください。（すべて）	1 企画 2 財務 3 広報 4 その他（具体的に記載してください）
Q8	IR専任の部署があるとお答えの方にお聞きます。 貴社IR部署の責任者（部署の長）の役職を選んでください。	1 役員クラス 2 部長クラス 3 課長以下クラス 4 その他（具体的に記載してください）
Q9	社長のIR姿勢について、最も近いものをひとつを選んでください。	1 あらゆる I R 活動に積極的にかかわる 2 定期的に機関投資家等を訪問し説明を行う 3 決算説明会に加え、自社設営のミーティングに参加して説明を行う 4 決算説明会（のみ）に参加しメインスピーカーとして説明を行う 5 資料作成にかかわるがメインスピーカーではない 6 全くかわらない
Q10	貴社が現状行っている主なIR活動を選んでください。（すべて）	1 決算（四半期を含む）説明会 2 各種イベント（事業説明会、工場見学を含む） 3 スモール・ミーティング 4 アナリスト向けIRミーティング 5 個人投資家向け等のIRセミナー 6 証券会社（セルサイド）アナリストの個別取材への対応 7 機関投資家（バイサイド）への個別取材への対応 8 IR関係Webサイトの充実 9 その他（具体的に記載してください）
Q11	Q10でお答えいただいたもののうち 貴社が特に力を入れているIR活動を選んでください。（3つまで）	1 決算（四半期を含む）説明会 2 各種イベント（事業説明会、工場見学を含む） 3 スモール・ミーティング 4 アナリスト向けIRミーティング 5 個人投資家向け等のIRセミナー 6 証券会社（セルサイド）アナリストの個別取材への対応 7 機関投資家（バイサイド）への個別取材への対応 8 IR関係Webサイトの充実 9 その他（具体的に記載してください）
Q12	貴社において、証券会社（セルサイド）アナリストへの個別取材対応は年間で何件ありますか。当てはまるものを選んでください。	1 30件以上 2 10件以上～30件未満 3 5件以上～10件未満 4 1 件以上～5件未満 5 なし
Q13	貴社において、機関投資家（バイサイド）への個別取材対応は年間で何件ありますか。当てはまるものを選んでください。	1 30件以上 2 10件以上～30件未満 3 5件以上～10件未満 4 1 件以上～5件未満 5 なし
Q14	貴社のIR活動における課題を選んでください。（すべて）	1 経営陣がIRに積極的でない 2 IR部署の人員不足 3 IR担当者の経験不足 4 証券会社のアナリストとの接触機会が少ない 5 機関投資家との接触機会が少ない 6 同業他社の取組状況が分からない 7 経営陣とのコミュニケーション 8 IR活動の効果測定ができない 9 その他（具体的に記載してください） 10 特にない

項番	質問項目	回答項目（選択肢）
Q15	Q14で選んだ課題のうち、特に困っているものを困っている順に順位付けしてください。（3位まで順位付け）	1 経営陣がIRに積極的でない 2 IR部署の人員不足 3 IR担当者の経験不足 4 証券会社のアナリストとの接触機会が少ない 5 機関投資家との接触機会が少ない 6 同業他社の取組状況が分からない 7 経営陣とのコミュニケーション 8 IR活動の効果測定ができない 9 その他（具体的に記載してください） 10 特にない
Q16	貴社の企業情報の開示・発信等にかかる課題を選んでください。（すべて）	1 IR部署の開示知識向上 2 説明会にアナリストが集まらない 3 分かりやすい資料作成のノウハウ 4 公平性・透明性の確保 5 非財務情報の開示 6 その他（具体的に記載してください） 7 特にない
Q17	仮に、日本証券アナリスト協会（以下、「当協会」といいます。）において、新たに中小型株等上場企業を対象としたIR活動支援を行うとした場合、実施を希望する取組みを3つ以内で選んでください。 （注）現在、当協会では、ディスクロージャー優良企業選定・表彰制度（業種別18業種、個人投資家向け情報提供、新興市場銘柄）を設けていますが、大企業中心の評価制度となっており、中小型株等上場企業は評価対象とはなっていません。 ▼参考：日本証券アナリスト協会HP https://www.saa.or.jp/standards/disclosure/index.html	1 中小型株等上場企業（30社程度）を対象としたディスクロージャー優良企業選定・表彰制度（注） 2 企業情報の開示向上等にかかる「好事例集」や「対話ガイドライン」の公表 3 アナリスト又はIR支援会社による相談（助言）窓口の設置（有料でも利用したい） 4 アナリスト又はIR支援会社による相談（助言）窓口の設置（無料なら利用したい） 5 その他（具体的に記載してください） 6 実施を希望するものはない（利用したいものはない）
Q18	Q17にて、「日本証券アナリスト協会において、新たに中小型株等上場企業を対象としたIR活動支援を行うとした場合」に、実施を希望する取組みとして【中小型株等上場企業（30社程度）を対象としたディスクロージャー 優良企業選定・表彰制度】をお選びになった方にお聞きます。実施を希望された理由として最も当てはまるものをひとつ選んでください。	1 自社のIR活動の水準を知りたい 2 表彰を受け知名度を上げたい 3 IR活動（又は情報開示）の改善に繋がるため 4 経営陣の意識改革のため 5 その他（具体的に記載してください）
Q19	中小型株上場企業についての表彰制度を新たに設けるとした場合、たとえば、以下のような評価項目（現在の業種別18業種と同じ）が考えられますが、これについてはどう思いますか。 ・経営陣やIR部署（又はIR担当者）のIR姿勢 ・決算説明会、インタビュー、説明資料等における開示 ・フェア・ディスクロージャーへの取組姿勢 ・非財務情報の開示 ・現場説明会や工場見学会などの自主的な情報開示 当てはまるものを選んでください。（すべて）	1 投資家が関心のある項目が網羅されており妥当 2 自社に関心を持つ投資家の着目点が欠けており不十分 3 大企業である業種別とは異なる項目とすべき 4 その他（具体的に記載してください）
Q20	Q19にて、「自社に関心を持つ投資家の着眼点が欠けており不十分」をお選びになりました。どのようなところが不十分だと思いましたか。お教えてください。	自由記述
Q21	Q19にて、「大企業である業種別とは異なる項目とすべき」をお選びになりました。どのような異なる項目がありますか。お教えてください。	自由記述
Q22	Q17にて、日本証券アナリスト協会において、新たに中小型株等上場企業を対象としたIR活動支援を行うとした場合に、実施を希望する取組みとして【企業情報の開示向上等にかかる「好事例集」や「対話ガイドライン」の公表】をお選びになった方にお聞きます。どのような内容を含んだ「好事例集」や「対話ガイドライン」があれば良いですか。お教えてください。	自由記述
Q23	これまで既存のIR活動に関する「好事例集」や「対話ガイドライン」について、貴社のIR活動の中で参考にしていますか（したことがありますか）。	1 参考にしている（したことがある） 2 参考にしていない
Q24	貴社のIR活動の中で参考にされていた資料は具体的には何ですか。当てはまるものを選んでください。（すべて） ▼参考 ・選択肢1（金融庁）の参考情報： https://www.fsa.go.jp/news/r2/singi/20210611-1.html ・選択肢2（東証）の参考情報： https://www.jpx.co.jp/news/1020/20241121-01.html ・選択肢3（日本IR協議会）の参考情報： https://www.jira.or.jp/activity/guiding.html	1 投資家と企業の対話ガイドライン（金融庁） 2 「資本コストや株価を意識した経営」に関する「投資者の目線とギャップのある事例」等（東証） 3 情報開示と対話のベストプラクティスに向けての行動指針（日本IR協議会） 4 その他（具体的に記載してください）
Q25	Q24でお選びになった参考資料について、どのような点が良かった（又は、悪かった）ですか。お教えてください。	自由記述
Q26	Q17にて、「日本証券アナリスト協会において、新たに中小型株等上場企業を対象としたIR活動支援を行うとした場合」に、実施を希望する取組みとして3又は4を選んだ方にお聞きます。アナリストにどのような相談をしたいですか（助言を求めますか）。また、アナリストに相談した場合に何か懸念する点がありますか。お教えてください。	自由記述
Q27	貴社のIR活動においてIR支援会社（当協会のIRミーティングを除く）を利用していますか。当てはまるものを選んでください。	1 複数社利用している 2 1社のみ利用している 3 過去に利用していたが、現在は利用していない 4 利用したことがない（理由を記載してください）
Q28	IR支援会社を利用しているとお答えになった方にお聞きます。IR支援会社を利用している目的を選んでください。（すべて）	1 IR体制強化のため 2 IR活動のノウハウを得るため 3 IR活動の効率化（経費削減等を含む） 4 アナリストとの接点強化 5 その他（具体的に記載してください）
Q29	IR支援会社を利用しているとお答えになった方にお聞きます。IR支援会社を利用して良かったと思う点は何ですか。お教えてください。	自由記述
Q30	IR支援会社を現在は利用していないとお答えになった方にお聞きます。IR支援会社の利用を止めた理由は何ですか。当てはまるものを選んでください。（すべて）	1 IR体制が整備されたため 2 IR活動のノウハウを得たため 3 IR活動の効率化が図れたため 4 IR支援会社の利用メリットがなかったため 5 その他（具体的に記載してください）
Q31	企業とアナリストとの対話に係る当協会の取組みに関して、ご意見、ご要望がありましたら記入してください（アナリストカバレッジの確保以外について）。（任意）	自由記述

項番	質問項目	回答項目（選択肢）
Q32	当協会のアナリスト向けIRミーティングへのご意見・ご要望等がありましたら記入してください。（任意）	自由記述
Q33	当協会の個人投資家向けIRセミナーへのご意見・ご要望等がありましたら記入してください。（任意）	自由記述
Q34	そのほか、当協会の活動にについてご意見がありましたら記入してください。（任意）	自由記述